

みんなの ひろば



元気な掛け声とともにもちをつく児童たち

収穫を祝ってもちつき

根雨小学校もちつき大会

収穫を祝い、元気でい
い年を過そうと、1月19
日、根雨小学校(佐々木史
子校長)で、もちつき大会
が開かれ、児童たちは、も
ちをついて楽しみました。

この日は、全校児童が
学年別に分かれて、60キ
ロのもちを保護者や地域
の人に手伝ってもらいな
がらつきあげました。

できあがったもち
は、昼にぜんざいやきな粉、
雑煮にして食べました。

同校5年生の石田晃一
さんは、小さかった苗から
たくさんのお米が収穫でき
てうれしいです。もちつ
きを楽しみにしていまし
た。おいしくつけたと思
います」と話しました。

もち米は、農業体験学
習の一環として、同校近
くの水田5アールで栽培
しています。

毎年5月になると、全
校生徒で田植えをして、
10月に収穫しています。

心豊かなまちをめざそう

町生涯学習まちづくり大会



意見発表する谷内さん

21世紀のまちづくりを考え
ようと、2月1日、町生涯学
習まちづくり大会を町文化セ
ンターで開き、約170人が
参加しました。

この日は、町内小中学生の

意見発表や講演がありました。
なかでも谷内大樹さん(根
雨小6年)は、困難を乗り越
えようとする高齢者の姿を
見て、「自分も年をとったら前
向きに生きていけるような人
になりたい」と話しました。

講演では、家庭教育力ウ
ンセラーの内田玲子さんが「ど
んなことでも、自分が直感し
たことが答え。それを見つけ
どう使うのか。自分に自信を
持つて行動することが大切で
す」と話しました。



「生活の中に必ず根がある」と講師の内田さん

人権が守られる明るいまちに

人権・同和教育研究会

1月22日、町文化センター
を主会場に第28回日野町人
権・同和教育研究会を開き、
自治会、職場、学校、各関係
団体から約220人が参加し
ました。

参加者は、趙博チョウハクさんの講
演「心の架け橋」を聞いたり
「差別の現実」に深く学び、暮
らしに生かす人権・同和教育
の実践」をテーマに各分散会
に分かれ、積極的に意見を交
わし、人権意識の高揚を図り
ました。



各会場に分かれて積極的に意見を交わす